第１回三沢市復興委員会会議録

○　日時：平成 23 年 7 月 22 日（火）14：30 ～ 16：00

○　場所：三沢市公会堂 3 階　第 8 集会室

○　出席委員：佐々木重喜、今泉利昭、小林博信、山崎文男、佐藤嘉忠、平内進勝、川畑好弘、杉山寛治、坂本幸子、野々宮壽喜、大塚和則（委員長）、米田光一郎、工藤智彦、野々宮忠良、宮古直志、中野渡進、中西敬悦、宮古健一、今村哲也、月館孝（２０名）

○　出 席 者：種市市長

○　事 務 局：（政策調整課）山本課長、山本課長補佐、小比類巻係長、柿崎主査、宮古主事

○　議事等

（午後２時３０分、開会）

（司　会）ただいまから三沢市復興委員会を開会します。

委嘱状交付

種市市長から各委員に対し委嘱状の交付

市長あいさつ

種市市長からあいさつ

自己紹介

各委員の自己紹介

（司　会）三沢市復興委員会設置要綱第３条により、委員長は大塚副市長及び要綱第４条により、委員長が議長となる。

（１）三沢市復興委員会設置要綱について

（委員長）議長として議事を進行しますのでよろしくお願いします。（１）三沢市復興委員会設置要綱について事務局から説明願います。

（事務局）三沢市復興委員会設置要綱について、資料１により説明。

（委員長）ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

質問等は特になし。

（２）被害及び対応状況等について

（委員長）（２）被害及び対応状況等について、各部から説明願います。

（総務部長）資料２　Ｐ１～Ｐ４により説明
（経済部長）資料２　Ｐ５～Ｐ７により説明
（建設部長）資料２　Ｐ８・Ｐ９により説明
（健康福祉部長）資料２　Ｐ１０により説明
（民生部長）資料２　Ｐ１１により説明

（委員長）ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

（委員）10ページ１番（淋代保育所）現在22名が入所しているということであるが、地震の前は、何名入所していたのか分かりますか？

（健康福祉部長）その当時の人数と変わらないと聞いておりますが、現在手持ちの資料では詳しい所は分かりません。

（委員）復興、復旧についてお金が必要になってきますが、保険などを含めて、どの様な資金が活用されているのかを教えて下さい。

（経済部長）施設の関係から御説明致します。修理によって、補償事業を行う上で、防衛省、水産庁、中小企業基盤整備機構の補助で行うものが施設毎に異なっております。防衛省では１／３補助、水産庁は１／２補助、機構では機構で施設を建てて市に貸すなど、団体によってメニューが異なっています。

船の関係は、動力船はほぼ、漁船保険に入っています。その他についてはいろいろな補助メニューがありまして、魚網、漁具などの補償もあります。

漁業者の関係については、保険と補助メニュー等で、中古船の購入など、ある程度の対応は出来ております。

（委員）Ｐ４の２（義援金）について。受け取りを辞退したのは、何か理由があったのですか？

（総務部長）１世帯については、農業被害はあったものの、持主は義援金を受領しなくて良いということからの“辞退”であります。

（委員）Ｐ４の中で、“世帯”との記載があります。世帯への配分になるのですか？建物ですから、戸数という事では無いのですね？

（総務部長）義援金については、“世帯”を対象としております。

（委員）公共施設は火災保険に入れないのですか？

（総務部長）各公共施設については、保険に入ってはいますが、今回の災害で保険が下りるかどうかについては、今時点ではわかりかねるところであります。

（委員長）詳しく調べて、次の機会に発表して下さい。

（委員）Ｐ８（くらしを守る森公園）について、原状復帰なのか？また、今後の津波対策を行うのか？そこをお聞きしたい。

（建設部長）工事の大前提は現況の“復旧”です。公共施設に災害対策を施すものではなく、復旧を行うものであります。

（３）三沢市復興計画の策定方針について

（委員長）（３）三沢市復興計画の策定方針について、事務局から説明願います。

（政策財政部長）三沢市復興計画の策定方針について、資料３により説明

（委員長）ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

（委員）停電時においては、三沢市は共同受信ケーブルでつながれており、画像が映らなかった。私は、この災害の現状を車のテレビで知った。停電時でも災害情報がわかる媒体があれば良いと考えている。これについて、市側ではどう考えているのですか？

（政策財政部長）これについては、様々な方から連絡を頂いております。
代外の伝達手段について資料を集めておりますので、会議の場で資料を提供して検討して頂けるようにしたいと思います。

（副市長）結論とすれば、この件は部会などで検討するという事でよろしいですね？
いずれこの件については、報告をお願いします。

（委員）警察では、どのように連絡をとっていたのですか？

（警察署長）警察では、無線と警察電話があり、映像が分からなかったので、アンテナを付けてもらいました。

（委員）市の方はどの様に状況を把握したのですか？

（政策財政部長）災害対策本部のある市長室のテレビは、ケーブルとアンテナから電波が入る事になっており、そこで確認を行いました。

（委員）市長は先程、「災害に強いまちづくり」と言いました。しかし、復旧だと災害前と同じものが出来ますが、莫大なお金をつぎ込んでいても「災害に強い」ということに結びつくのか？と思います。

（政策財政部長）この会議のタイトルについても、“復興”となっており、復旧は勿論、それにバージョンアップした復興計画を作っていきたいと考えております。

（副市長）復旧では無く、災害に強いという部分を作っていくという事になります。

（建設部長）先程、資料の中で現況復旧と申し上げた部分が引っ掛かっているのではないでしょうか？

国の補助制度では復旧が前提ですが、災害対策として大幅な効果を見込めるものは、補助の対象となります。

但し、暮らしを守る森公園では、復旧に加えて、災害対策を入れますと数 10 億円かかるものと考えられます。

海に面した公園ですので、公園整備のコンセプトからも、現況復旧という選択肢を取っております。

（４）今後のスケジュールについて

（委員長）（４）今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

（事務局）今後のスケジュールについて、資料４により説明

（委員長）ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

（委員）部会の開催についても、開催案内を出してもらえますか？

（事務局）事務局から御案内させて頂きます。
オブザーバーの様な形で参加して頂くこととなります。

（委員長）本日の審議は、以上で終了となります。ありがとうございました。

（司　会）これをもちまして、三沢市復興委員会を閉会いたします。

（午後４時、閉会）